アイバンクは皆さんの善意で支えられています

iアイ愛

TOHOKU eye EYE BANK

東北大学アイバンクだより Vol.8

「アイ愛」INDEX

●理事長のあいさつ／東北大学アイバンク理事長 中澤 徹
●眼科・學／
大崎市民病院眼科 竹下 孝之先生
●特集・アイ愛リポート／
ライオンズクラブ 国際協会元国際理事 菊地 伸治さん・
元ガバナー協議会議長 名誉顧問 錦戸 光一郎さん
●献眼者のご遺族から／浅沼 孝和さん
●わたしとアイバンク／山本 誠一さん
●第6回東北大学アイバンクセミナー
●アイバンク Q&A ほか

眼科●學

体の窓から何が見えるの？

眼から見つかる全身の病気

体の中で何か異常が生じていないか？
体の「窓」としての眼球を診断することにより、
身体の色々な不調を見つけることができます。

特集●アイ愛 リポート

今も受け継がれる視力ファーストの精神

～東北初のライオンズクラブ結成秘話～
東北大学アイバンク設立当時から様々なご支援を頂いてきたライオンズクラブ。
その誕生のエピソードや奉仕精神などをライオンズクラブ元ガバナーの方から伺いました。

TOHOKU eye EYE BANK 公益財団法人 東北大学アイバンク

「公益財団法人東北大学アイバンクだより」は、皆さんに親しんでいただくため、愛称を「アイ愛」と名付け、「瞳と愛をあなたからあなたへ届けたい」という思いを込めています。

公益財団法人 東北大学アイバンクだより「アイ愛」vol.8
●発行日／平成28年4月1日 ●発行／公益財団法人 東北大学アイバンク 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内 TEL.022-728-3677／FAX.022-717-7298 ●印刷／株式会社 ソノベ
公益財団法人 東北大学アイバンクだより「アイ愛」は、アイバンクの普及拡大を目的に制作発行しています。

あなたの勇気と行動で光を取り戻す人がいます

角膜がたいへん不足しています！
アイバンクへのご登録をお願いいたします

献眼登録・献眼の手続きについて

1 ご家族との話し合い

登録する前に、ご家族としっかり話し合いましょう。
ご家族とは十分に意思確認を行った上、同意を得てください。

2 登録の手続き

登録の方法は…
専用リーフレットに登録申し込み用のハガキがついておりますので、ご記入後、ポストに投函してください。

登録後、東北大学アイバンクより証明用のカードを発行します。
登録カードはなくさないように工夫してください。
運転免許証などと合わせて、いつも持ち歩くことをおすすめします。
臓器提供意思表示カードをお持ちの方でも、スムーズかつ確実に提供いただくため、アイバンクへのご登録をお願いします。

3 わからないことがあれば、いつでもお電話を！

4 献眼の手続き

登録者がお亡くなりになって24時間以内にご献眼いただく必要があります。なるべくお早めにお電話を。アイバンクに未登録の方でも本人の意思、またはご家族の同意があれば献眼できます。

※眼球保護のため、まぶたを閉じ、湿ったガーゼかタオルでまぶたの上を被ってください。目を開いたままでは移植に必要な角膜部分が乾燥してしまいます。
※献眼後は、義眼をお入れしますので、ご安心ください。

アイバンクは皆さんの善意で支えられています

TOHOKU eye EYE BANK
公益財団法人
東北大学アイバンク
仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内

東北大学アイバンク 24時間ホットライン **022-728-3677**
24時間夜間休日でもOK!

★東北大学アイバンクが発行する各リーフレットは、協力病院・協力医院に設置のほか、ご希望の方には発送も行っております。お気軽にお問い合わせください。
★角膜提供以外に関するお問い合わせは平日9：00～17：00までにお願いいたします。

協力会員募集

●アイバンクへの寄付にご協力をお願いいたします。
東北大学アイバンクでは、年会費1口2,000円（寄付）の協力会員を随時募集しております。
他の金融機関からのお振込みは、ゆうちょ銀行 二二九（ニニキュウ）店（229）当座 0017271までお願い致します。

下記の「払込取扱票」にて最寄りの郵便局よりお振り込み下さい。ご支援いただきました方々のお名前は「東北大学アイバンクだより」及び「東北大学医学部眼科学教室」のホームページに掲載させていただきます。皆様の温かいご協力をお待ちしております。

お振込みは右記の用紙にて最寄りの郵便局よりお願いいたします。

払込取扱票　02 仙台　通常払込料金加入者負担

口座記号番号 0 2 2 1 0 － 2 － 1 7 2 7 1
金額 千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名 公益財団法人 東北大学アイバンク
料金　備考

通信欄
◎協力会員の年会費は1口2,000円です。
◎氏名の公表に関しましては、どちらか一方の□に✓をつけてください。
印のないものにつきましては、公表いたしませんのでご了承ください。
会報・ホームページへ氏名を公表することに
□同意する　□同意しない

ご依頼人　おところ（郵便番号　-　）　おなまえ　様　（電話番号　-　-　）
日附印
各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号 仙 第10666号）
これより下部には何も記入しないでください。
切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証
口座記号番号 0 2 2 1 0 － 2 1 7 2 7 1　通常払込料金加入者負担
加入者名 公益財団法人 東北大学アイバンク
金額 千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人 おなまえ 様
料金　備考　日附印
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
この受領証は大切に保管してください。

～ごあいさつ～

公益財団法人東北大学アイバンク
理事長 中澤 徹

東北大学大学院医学系研究科
神経感覚器病態学講座
眼科学分野教授

昭和43年5月に設立された、東北大学アイバンクは、ライオンズクラブ、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県眼科医会が中心となり、献眼頂いた皆様の御意思に敬意を示し、一人でも多くの患者様に光を取り戻していただくために、誠心誠意活動している団体です。そうして、東北大学アイバンクはこれまでに、940眼（平成27年3月末現在）の角膜移植手術を行なっており、多くの人々に光を取り戻すお手伝いをしてまいりました。そして現在も100名を越える患者様が移植手術を待っており、高齢化社会の到来もあいまって、視力低下する患者様も増加し、アイバンクの重要性は益々高まっています。

当アイバンクは、平成26年4月から新たに公益法人制度の改革に準じて「公益財団法人東北大学アイバンク」へと移行し、新たな体制で一歩を踏み出しました。移行に際して事務職員、理事、評議員の方々に多大な尽力を頂き無事に認定されたことをご報告いたします。新体制で、更に当アイバンクの趣旨を大切にしながら、関わるすべてのメンバーと力を合わせて、患者様に光の贈り物を届けていきたいと思います。

毎年開催しております、アイバンクセミナーが昨年も10月4日に行われ、「眼は心と『体』の窓」と題しまして、眼からみつかる全身の病気や緑内障の話、アイバンクの話に関する講演が行われました。また今年は初めての試みとして、実際に角膜移植を受けられた方に体験をお話し頂く時間も設けました。更に講演に先立ち、眼の健康相談と各種検査機器を用いた健診のコーナーも実施致しました。このような取り組みの結果、前回よりも多い150名を超える皆様に御参加頂くことができました。今年は宮城県眼科医会主催の「目で見る眼のすべて展」と同時開催になりますので、今から鋭意準備を進めております。是非ともセミナーに足をお運び頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

今後も東北大学アイバンクは、広く市民にアイバンク活動の意義を浸透させ、更なる社会貢献のため、いっそうの活動内容の充実に取り組んでいきます。営利目的の無い団体であり、すべての活動資金は斡旋料と皆様の尊いご寄付で成り立っております。現在は宮城県の開業医の先生方から、またライオンズクラブなど団体からのご寄付が中心となっております。是非皆様からのご支援もよろしくお願い致します。我々東北大学アイバンク一同、更に強固な結束によりアイバンク活動を進めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

眼科學
まなぶ

体の窓から何が見えるの？
眼から見つかる全身の病気

大崎市民病院眼科
竹下 孝之先生

眼球はものを見るための大切な道具。「体の中」から「外の世界」をのぞく「窓」の様なもの。その「窓」を通して外から体の中をのぞくこともできます。眼科の検査では眼球の異常を調べると同時に、体の中で何か悪い変化が生じていないかをチェックすることができます。

眼科の基本的な検査は、スリットランプによる前眼部検査と、検眼鏡などによる眼底（網膜）検査の2つです。

前眼部検査では眼の表面にある角膜や結膜の状態を調べます。この角膜や結膜は体の中の異常にしたがって様々な変化を生じます。たとえば角膜や強膜（白目）には、足や指の関節と同じようにコラーゲンやプロテオグリカンなどが豊富に含まれています。関節リウマチのように眼とは一見関係のない関節の病気でも、関節に異常を起こす物質（免疫グロブリン）が血液の中にあると、それが軟らかい結膜の血管を通して周囲に漏れ出し、関節と同じ成分を持つ強膜が炎症を起こして腫れ上がったり（強膜炎）、また薄くなって溶けたりする場合があります（悪性関節リウマチ）。軟骨炎や脊椎炎でも同じようなことが起こります。そもそも眼の表面の血管は軟らかく血液の中の成分が漏れやすいので、体の中に免疫複合体という特殊な物質が現れる自己免疫疾患という病気では、血管や腎臓の異常とともに結膜充血や角膜の異常が出てくることがあります。これには潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や、結節性多発動脈炎・ウェゲナー肉芽腫症のような血管炎、サルコイドーシスなどの慢性炎症性疾患など、非常に多くの病気があり、これら一群の病気のサインとして眼症状が現れることがあるのです。（図1）

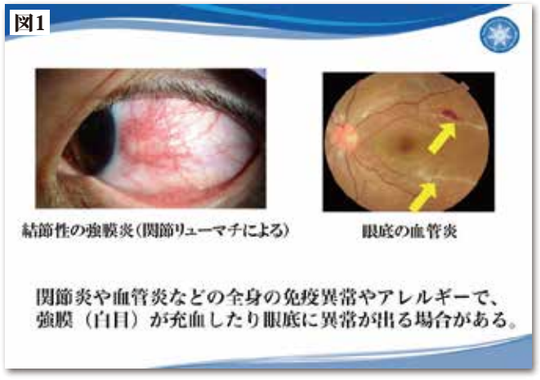
もう一つの眼底検査でも、体の中の異常が色々とわかります。眼底には網膜と脈絡膜という非常に血液の流れの豊富な組織があります。血流が豊富な分、血液の中に異常なものが混ざっていると、それらが眼の中に入ってきて病気を起こしてしまうことがあるのです。代表的なものに細菌があります。膀胱や肝臓に細菌が感染していると（膀胱炎や肝膿瘍）、そこからばい菌が眼の中に流れてきて眼内炎（眼の中に膿がたまる状態）を起こし失明することもあります。またネコに引っ掻かれて感染するバルトネラ菌、きちんと火を通さずに肉を食べたことで感染するトキソプラズマ原虫なども、眼とは全く関係のないようですが、血液に乗って菌などが眼内に流れ感染し重大な視力障害を生じることがあります。（図2）

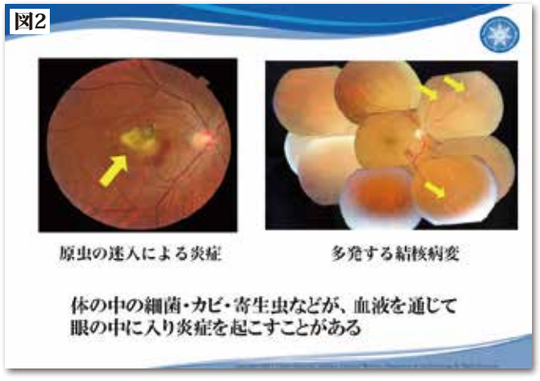
血流とともに眼の中に入ってくるものに、がん細胞もあります。がんが進行し、血液に乗って眼に転移し、眼の中でがんが増殖するものがあります。有名なものに男性の肺がんや女性の乳がんがあります。健診などで乳がんが見つかる前に、視力が落ちた気がして眼科を受診し、眼の中に乳がんの転移病変が見つかることもあります。（図3）

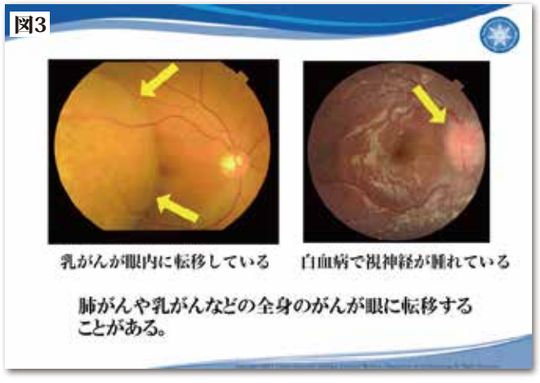
実際に眼底検査をすると、眼の中を走る血管がまず目に付きます。眼の血管は体の中の血管としては小さなものですが、やはり体の異常を反映して色々な変化を起こします。高血圧を治療しないと眼底の血管は極端に細くなったり、血液の流れが滞って神経が腫れたり（白斑）、血管が破綻して眼底出血を生じることもあります。内科の先生は、血圧の高い人を見た場合、眼科の眼底検査の様子を手がかりに体の中の血管の状態を類推して治療方針をたてることもあります。糖尿病のように血管が詰まったり、血管の壁が弱くなって血液成分が漏れてくる病気は、非常に多くのトラブルを眼に起こします（糖尿病性網膜症）。糖尿病を原因とする失明は日本や欧米などの先進国に多く、糖尿病を治療している人はかならず眼底検査を受けて異常がないか確認する必要があります。

眼と脳をつなぐのが視神経で、眼底検査で視神経乳頭として見えます。脳腫瘍などで神経が傷むとこの乳頭が白くなり、視力が低下します。脳腫瘍や動脈瘤が視力低下で発見されることはしばしばあります。

以上のように、眼には体の異常がいろいろな形で反映されます。それらには視力が落ちることで自分で気がつくものもあれば、全く無症状で気がつかず、検査で初めてわかるものもあります。ふつう眼科に行くのは眼に異常がないかを調べるためですが、それと同時に眼以外の体の異常をチェックすることもできるので、体の健康を維持するためにも時々眼科で検診を受けるのも良いでしょう。







海を越えた善意の連携「リッチランドの壺」今も受け継がれる視力ファーストの精神

～東北初のライオンズクラブ結成秘話～

東北大学アイバンク設立当時から地域の奉仕活動に取り組んできた、ライオンズクラブの国際協会元国際理事の菊地伸治さん、元ガバナー協議会議長で名誉顧問の錦戸光一郎さん。東北最初のライオンズクラブ誕生のエピソードやライオンズクラブの奉仕精神について伺いました。

元ガバナー協議会議長
名誉顧問
錦戸 光一郎さん

ヘレン・ケラーの演説

アイバンクとライオンズクラブの関わりは、今から90年ほど前にさかのぼります。1925(大正14)年、アメリカで行われたライオンズクラブ国際大会で、ヘレン・ケラーが「見える目を持ち、聞こえる耳を持ち、力強く勇敢で親切なあなた方にお願いします。暗闇と闘う盲人の騎士になってください」と演説しました。

わずか1歳で原因不明の高熱と腹痛におそわれ視覚と聴覚を失いましたが、アン・サリバン先生に出会い、ハーバード大学の女子部(ラドクリフ・カレッジ)に合格。優秀な成績で卒業したのち、世界各国で講演を行うなど精力的に活動したヘレン・ケラーが行った前述のスピーチがきっかけとなり、全世界のライオンズクラブにおいて「目を守る運動」は奉仕活動の大きな柱となりました。そして1944(昭和19)年、ニューヨークに世界初のアイバンクが設立され、本格的な活動が始まったのです。

日本では、1949(昭和24)年に岩手医科大学教授の今泉亀撤先生が国内初の角膜移植手術を成功させ、1956(昭和31)年、岩手医科大学内にアイバンクの礎となる「目の銀行」が発足。その後1958(昭和33)年に角膜移植に関する法律ができ、これを機にアイバンクの活動と献眼登録が全国に広がっていきました。

青森の青年の失明の危機を救う

ライオンズクラブの奉仕精神と友愛の象徴として「リッチランドの壺」のエピソードがあります。この出来事は東北最初のライオンズクラブ結成の契機となりました。

青森に住む市川仁也さんは小学3年生のときに父を病気で亡くし、母と姉、弟とともに肩を寄せ合い慎ましい生活を送っていました。戦後の混乱期でもあり、日々の食事も事欠く毎日でしたが、英語に興味を抱いていた市川さんは、宣教師によるバイブルクラスを受けたことをきっかけに青森バプテスト教会に通うようになります。

1956(昭和31)年、20歳になった市川さんはある春の日、左目に異常を感じ眼科を受診。医師に網膜剥離と診断され、手術を受けなければ失明すること、費用は当時のお金で5万円ほどかかることを告げられました。健康保険制度もない時代で、経済的にも厳しく、途方に暮れた市川さんは教会の豊原敏郎牧師にこのことを打ち明けると、「費用のことは考えず、とにかくすぐ入院しなさい」と言われ、手術を受けることになりました。市川さんの手術は無事成功。費用がどのように工面されたのかを知ったのは手術後のことでした。

国際協会元国際理事
菊地 伸治さん

ライオンズクラブの歴史を語る両名

青森に東北最初のライオンズクラブ結成

豊原牧師から相談を受けた教会のハルバーソン宣教師は、その費用を捻出するために奔走。しかし、戦後の苦境の中にいる人々にその費用を準備することは容易でなかったため、故郷のアメリカワシントン州リッチランドで暮らす母に手紙を書きました。手紙を読んだ母はその話をライオンズクラブに所属する夫の弟に伝えたところ、早速理事会に報告。理事会ではわずか5分で支援することを決議し、クラブのアイ・ファンド(目の基金)から150ドルを送ることにしました。

しかしその当時、青森にはライオンズクラブがなかったことから、東京ライオンズクラブを通して支援を行うことに。書簡を受け取った東京ライオンズクラブは、手術費用は自分たちで集めて、リッチランドから届いた150ドルはアイ・ファンド「リッチランドの壺」として積み立て、目の保護活動に役立てることにしました。

この出来事は青森の地元紙で大きく報道され、青森市にライオンズクラブを結成する動きが生まれました。失明の危機を乗り越えた市川さんは、1956(昭和31)年10月に治療を終え、退院。東北初となる青森ライオンズクラブは同年12月に結成され、善意のリレーは短期間で実を結んだのです。

失明の危機から救われた市川さんは、退院後まもなく運輸会社に入社し、得意の英語を生かして海運業務を担当。その後は本社勤務、中東駐在などを経験するなど42年にわたり勤務し、退職後は国際輸送コンサルタントとして独立。独立を機に青森ライオンズクラブに入会し、多くの方々からもらった善意に感謝しながら、現在も地域の奉仕活動に尽力しています。

受け継がれる視力ファーストの精神

宮城県では、「リッチランドの壺」のエピソードに感銘を受けた人々が立ち上がり、青森ライオンズクラブ結成の翌年、1957(昭和32)年4月に東北2番目となる仙台ライオンズクラブを結成。1968(昭和43)年12月の東北大学アイバンク設立の際には、在仙の5つのライオンズクラブメンバーが設立に先駆けてPR活動を実施するなど、物心両面からサポート。東北大学アイバンクが公益財団法人となった今でも財政面の継続的支援のほか、献眼登録活動や角膜移植の啓発支援などに尽力しています。

献眼登録は本人の意思でできますが、実際の献眼は遺族の意思にかかわってくることです。献眼してくださる方を増やすには心と心の交流が何よりも大切なことなのです。

アイバンクがドナーと待機患者様の架け橋であるならば、ライオンズクラブは、「視力ファーストの精神」を受け継ぎ地域とアイバンクとを結び付けるという重要な役割を、しっかりと担っていきたいと思っています。

アイ愛インタビュー●献眼者のご遺族　2015年に献眼された享年94歳 浅沼 孝信さんのご長男、浅沼 孝和さんの声

父が生涯通して追求したのは利他の心 アイバンクで最後の願いも叶えることができました

宮城県のアイバンク設立を強力にバックアップしてくださったのが在仙の5つのライオンズクラブです。2015年6月に献眼された浅沼孝信さんは仙台南ライオンズクラブに所属し、初期の頃に登録され、様々な活動に取り組まれていました。ご長男の孝和さんに、お父様の人となりやアイバンクに抱いておられた思いなどをお話しいただきました。

父の実家は岩手県の農家でしたが、子どもの頃に肺を患い、体が弱かったために「農家はつげない。何か人の役に立つ仕事はないだろうか」と考え、勉強して医師の道を志したそうです。

無事に医師になった父は最初は名取市で、その後仙台市で開業。80歳まで開業医を続けました。その間、老人福祉施設など外部の施設への往診も精力的に行っていました。病院の経営から退いた後も嘱託医として、地域のみなさんの診療に力を尽くしました。私も同じ内科医となりましたが、その精力的な働きぶりには感心します。

父の「人の役に立ちたい」という思いは非常に強かったと思います。それはきっと周囲に支えられて医師になれたという思いがあるからかもしれません。開業してからも父は、自分の診療所に若手医師や苦学生を下宿させ、面倒をみていました。今でいうインターンシップのようなものでしょうか。診療の現場を経験させ、生きた知識や技術を教えようと思ったのだと思います。

仕事関係の会合でも世話役をしたり活動的でしたが、絵画やゴルフなど趣味も多彩でさまざまな方々と交流がありました。ライオンズクラブの活動もそのひとつで、自分が所属していた仙台南ライオンズクラブの立ち上げにも関わったり、会長もやらせていただいていました。

ライオンズクラブでは「視力ファーストの精神」が大きな柱になっています。宮城県でのアイバンク設立にも在仙のライオンズクラブが熱心に関わったのだとか。父も早くからアイバンクに登録させていただいていました。私の記憶では昭和50年頃には登録していたと思います。父には、学生時代から親しくさせていただいていた眼科医の先輩がいました。その先生からアイバンクのことや角膜移植のことを聞いていたようで、その影響でアイバンクへ登録したと聞いたことがありました。

仕事に趣味に、ボランティア活動にとても忙しい人で、子どもの頃に一緒に遊んだという記憶はあまりありません。私は幼い頃、やんちゃで朝から晩まで外で遊び回っていました。余りに遊びすぎて、月曜日はいつも学校を休み、先生方に「あの子は体が弱いんだ」と思われていたほどです。そんな私でしたが、父からそのことを怒られたり、勉強しないことを怒られたことはありません。ただ義理を欠くことをした時だけひどく怒られた記憶があります。親として、人としてそれだけは伝えたかったのだと思います。

大人になって、同じ医者となっても男同士ですし、父と語り合うような機会はあまりありませんでした。それなのに会うと必ず言うのが「俺はアイバンクに登録しているから、俺が死んだら忘れないでアイバンクに連絡しなさい」というものでした。

年々、言い方にも工夫が加わって、「俺が死んだら1番に何をするんだっけ?」とクイズ形式で話しかけてくるように変化しました。それはもうしつこいくらいでしたね(笑)。私は3人兄弟の長男なのですが、弟たちに聞くと、この質問をされたことはないそうです。これが長男の務めとでもいうことだったのでしょうか。

父が亡くなったのは昨年6月8日でした。私は残念ながら仕事ですぐに駆けつけることができませんでしたが、前々からアイバンクへの連絡を第一に指導されていたので、父が入所していた老人ホームの方に説明し、もしものことがあったらアイバンクに連絡を入れるようにお願いしていました。角膜を良い状態で提供するためには、できるだけ早く摘出する必要があります。万が一にも父の思いを無にしてはいけないという思いがあり、老人ホームの方にご協力いただくことにしました。

94歳という高齢でなくなったので、本当に父の角膜が移植に使えるのかという不安もありました。しかし、後でうかがったところによると、100歳を過ぎた方の角膜も問題無く使えるとのこと。仕事でもプライベートでも、人の役に立つことを最優先に考える父は、死んでからも役に立ちたいという思いが強かったんだと思います。老人ホームやアイバンクのご尽力のおかげで、父の願いが無事叶いました。きっと天国で喜んでいることと思います。ありがとうございました。

趣味のスケッチを楽しむ浅沼孝信さん

献眼者のご尊名

●平成27年度(27年4月～28年3月)

故人の尊い御遺志と、御家族をはじめ関係者みなさまの御理解と御協力のおかげで角膜の障害に苦しまれているたくさんの方々が、光を取り戻すことができました。

謹んで故人の御冥福をお祈り申し上げます。

◆浅沼 孝信 様
◆武藤 望 様
◆宮田 操子 様
◆長谷川 精一 様
◆木村 潤 様
◆庄司 昌子 様

御献眼いただきましたのちに、御遺族に対しましては、厚生労働大臣より感謝状が贈呈され、お届けいたしております。

東北大学アイバンクでは、イベント等でリーフレットを配布し、アイバンクを広く知ってもらうための活動を行っています。また、アイバンクの登録者には証明用のカードも発行しています。

アイ愛インタビュー●受眼者 山本 誠一さん

角膜移植で日々の生活や趣味に張り合いができました。提供してくださった方、関係者のみなさんに感謝します

秋田県湯沢市にお住まいの山本誠一さんは、若い頃から視力はよく、眼の病気もありませんでしたが、ケガの影響で平成26年に角膜移植の手術を受けました。

米どころ秋田は、酒どころでもあります。私が暮らす湯沢市も米どころであり、良質な水にも恵まれた土地柄です。その湯沢市で古くから酒蔵の仕事をしておりましたが、若い頃から体は丈夫でした。視力も良くて、眼の病気にかかったこともなかったのですが、昭和57年に転んだ拍子に、左目にケガをしまして、水晶体を眼内レンズに入れ替える手術を受けました。

その後、コンタクトレンズを使いながら、何の問題もなく30年近く過ごしてきましたが、違和感を感じるようになりました。病院では左眼の水疱性角膜症と診断され、角膜移植をすることになったのです。

平成26年1月9日に入院し、翌日手術しました。全身麻酔をして、手術自体は約1時間ぐらいだと思います。翌日にはある程度見えるように。秋田では、買い物をはじめ何をするのでも、自動車がないと生活できません。角膜移植のおかげで、自動車免許も問題なく更新しています。これは本当にありがたいですね。

仕事をしていた時は、特に酒造りの季節は忙しくて、趣味を楽しむ時間がありませんでしたが、定年してから時間ができましたので、いろいろと楽しんでいます。

書道は定年前から続けていた趣味です。「瑞泉」という雅号をいただいて、毎年審査会に作品を出したりしています。庭木や盆栽など自分の作品が作品集に載ったりするとこれもうれしいものですよ。

▲ご自宅の床の間に飾られた山本さんの書。

さらに定年後に始めたのが日本舞踊です。踊りは、続ければ続けるほどその奥深さがわかってくるので、難しくもあり、楽しくもありです。そして体を使いますから、いい運動にもなりますし、仲間もたくさんできて、いろいろな場所へ遠征に行くのも楽しいものです。衣装などを用意するのは大変ですが、老人ホームなどに呼ばれていって踊ったりすると、みなさんがとても喜んでくれます。知り合いの結婚式やお祝い事があると、声をかけてもらうことも多く、現在78歳ですが、ますます精進しなくてはと励みになります。

▲展示会に出品された盆栽。見事な枝振りです。

角膜移植してから2年が経ちますが、おかげさまで何の不自由も感じず日々生活しています。角膜をくださった方には感謝の言葉しかありません。また秋田や仙台の病院の先生、アイバンクの方にも大変お世話になりました。実は私も、以前からアイアンバンクに登録しておりました。自分が角膜移植を体験したことで、将来、私もどなたかのお役に立てればうれしいなと思うようになりました。

▲発表会のほか、慰問やお祝い事に呼ばれて披露することも多いのだとか。

角膜移植
親族への優先提供をお考えの方

親族への優先提供が行われる場合

▼以下の３つの要件をすべて満たす必要があります。

- ご本人（15 歳以上の方）が臓器を提供する意思表示に併せて、親族への優先提供の意思を書面により表示している。
- 臓器提供の際、親族（配偶者※1、子ども※2、父母※2）が移植希望登録をしている。
- 医学的な条件（適合条件）を満たしている。

※1 婚姻届を出している方です。事実婚の方は含みません。
※2 実の親子のほか、特別養子縁組による養子及び養父母を含みます。

親族優先提供についての留意事項

●レシピエント（待機患者）になるためにすること
ドナー（提供者）が死亡した時点において、提供を受けようとする人は、医師の診察を受けてレシピエント（待機患者）として登録されていなければならない。

●提供できないケース
1.「〇〇さんにだけ提供する」という限定する意思表示があった場合は認められない。さらに提供そのものができなくなる。
2. 親族提供を目的とした自殺を防ぐため、自殺者からの親族提供はできない。
3. 優先提供する親族の方を指名（名前を記載）した場合は、その方を含めた親族全体への優先提供意思として取り扱う。
4. 医学的な条件により移植の対象となる親族がいない場合は、親族以外の方への移植が行われる。

第6回 東北大学アイバンクセミナー
～眼は心と『体』の窓～

- ●開催日／平成27年10月4日（日）
- ●時間／12:00～15:00
- ●開催場所／仙台市情報・産業プラザ5階 多目的ホール
- ●主催／公益財団法人東北大学アイバンク
- ●座長／東北大学眼科 教授　中澤 徹

東北大学アイバンクセミナーも6回目を迎え、今回は150名をこえる皆様のご参加により開催することができました。

このセミナーは毎年秋の「目の愛護デー」（10月10日）に合わせて行なわれ、一般の方を対象に東北大学眼科学教室、そして宮城県眼科医会の先生方にご講演いただいております。内容は、主に眼の疾患に関する予防法や早期発見の大切さ、最新の治療法などについてのお話しで、多くの皆様に様々な眼科医療や、目に関するいろいろな知識を高めていただくことを目的としています。

今回は「眼は心と『体』の窓」と題し、東北大学病院眼科の先生方に、眼から見つかる全身の病気や緑内障の話、そしてアイバンク活動について、とてもわかりやすく、説明していただきました。講演が始まると先生方の話術に引き込まれ、会場内は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

今年は新たな試みとして、角膜移植を受けられた青木恵一さんに体験談をお話しいただく時間を設けました。一言一言、丁寧に語られた青木さんのことばと、主治医である横倉俊二先生の対談に、みなが熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。

また、仙台・杜の響きコンサートの皆様によります クラシックのミニコンサート（アンサンブル）も、講演開始前の短い時間ではありますが 毎年多くの方に喜んでいただいております。

さらに、講演に先立ち 日本眼科医療センターの協力により各種検査用機器を用いた健診コーナーと、眼科医師による眼の健康相談（無料）も実施いたしました。参加者の皆様に健診の大切さもお伝えできればと思っています。

今後も、わかりやすく楽しく学べる講演内容と、多くの方が気軽に参加できる体験コーナーを、さらに充実させていきたいと思っています。ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしております。

【参加者の感想】

■先生の話がとてもわかりやすくて、よく理解できた。難しい病気の話なのに、楽しく学べた。次回も参加してみたい。（40代女性）

■アンサンブルの演奏で、緊張がほぐれてゆったり話を聞くことができた。（60代女性）

■体験コーナーで、何を調べる検査機器なのかを説明してほしい。ほかの検査もしてみたかった。（60代男性）

「わたしとアイバンク」

●青木 恵一さん／角膜移植体験者

私は、平成20年3月に、左眼の角膜移植手術を受けました。「角膜混濁症」で生まれたらしく、両眼とも65年間、例えるなら「磨りガラス越し」に物を見ていました。メガネをかけても視力表の最上段が判別できません。「ああ、こういうものなのか」と自分のハンディキャップと諦めていました。学校、職場での身体検査（視力検査）の時は、「見えません。分りません。」と言わざるを得ず、いつも屈辱感がつきまといました。

退職後65歳になった時、仙台市が実施する高齢者健康診断を受けることになりました。またの屈辱感を覚悟し受診した眼科医から「青木さん、この角膜混濁は角膜移植手術で治りますよ。東北大学で角膜移植が受けられるから紹介状を書きましょうか?」という、想定外のプロポーズを受けました。

移植手術を待ち望む視力障害者が多く待機している中、初診日に症状がかなり重症だったことで、主治医の西田幸二先生から翌月手術の決定を頂きました。当日は、もちろん不安もありましたが、すべてを西田先生とスタッフに委ね、真っ白の気持ちで文字通り「まな板の上の鯉」の心境で手術台に上がりました。

手術中にまばたきができないように眼瞼に麻酔注射をされたときだけは印象的な痛みがありました。でも、手術室に入ってからは手術台に固定されながらも、手を握り、ハラハラドキドキ、悶々のアッという間の2時間ドラマだったように感じます。部分麻酔で直径10㎜の旧不良角膜が顕微鏡とレーザーメスにより切除され、やがて純良な角膜が縫い合わされていきます。明るい手術室天井のライトが見え始めた時、私の生涯で最初で最大の感動が始まりました。

「ハイ、終わりましたよ。」が遠くに聞こえた時、感激と、今までの悔しさから解放（開放）される期待で「ありがとうございました」がうまく声になりませんでした。

これまでうっすらとかすんで、濁って見えていたものがクリアに見えるようになりました。人参がこんなに赤かったのか、卵の黄身がこんなに黄色く、ピーマンはこんな緑だったのか。新聞の紙面や文字が黒々とくっきり映えて見えました。

眼が不自由だったことで何度となく、寂しい、悲しい、悔しいおもいをしてきました。学校（教室）では黒板の文字が見えない、問題が読めないから答えられない。当時は恥ずかしい気持ちから、前の席にしてくださいとは言えませんでした。肩が強かったので、中学、高校では野球部に入部はしましたが、日中の逆光や夕方になるとボールが見えない。レギュラーになれず中途退部をしました。

やがて就職し、意外にも営業部門に配属され、運転免許を取るときは喜劇（悲劇）でした。適性検査に必要な視力がないため、得意の記憶力（術）で視力表を暗記してパスしました。検査官は「見える」からスラスラ答えるのだろうと疑うことなく適正と判断したのでしょうが、私にとっては背水の綱渡りでした。（公安委員会の方ごめんなさい）

でも、次の更新の時に視力検査方式が点滅式に替わってしまい、免許返納の悲哀を味わうことになり、営業職を辞することになりました。私にとってこの前後が生涯で一番、現実的、具体的に情けなく、慙愧に思った時期です。

2年後の10月、今度は右眼の角膜移植手術をして頂きました。

わたしがお世話になった東北大学アイバンクは、亡くなられた方から角膜を提供していただき、病院（眼科）に頂けるまでの仲人です。感染症の症状がなければ、年齢、性別を問いません。私は角膜を提供された方のためにも、これからも中途半端なことはできないという使命感で一杯になっています。

「緑内障を早期発見するためには」

●横山 悠先生／東北大学眼科助教

はじめに

緑内障という病気を聞いたことはありますか。日本人の40歳以上の有病率はおよそ5％といわれています。緑内障は何らかの原因で視神経が障害され視野が狭くなる病気で、眼圧の上昇がその原因の一つといわれています。放置すれば失明することもあるのです。

緑内障とは?

人間の目は、カメラと同じような構造になっています。水晶体はカメラのレンズ、網膜はフィルムに相当します。黒目のところから入ってきた光は屈折されて、網膜に焦点を結びます。網膜に映った像は、脳に送られて初めて認識されます。眼球と脳をつなぐ視覚情報をおくるケーブルの働きをしているのが視

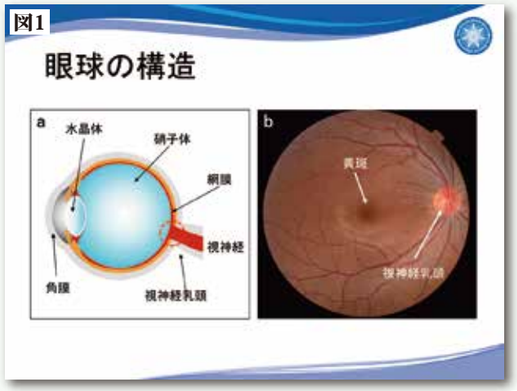
神経です(図1a)。

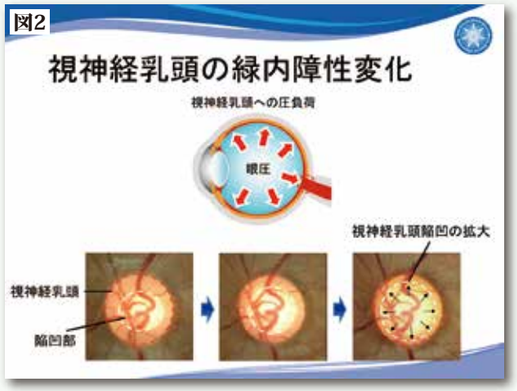
視神経は100万を超える神経線維の束ですが、この1本1本を作っているのが網膜神経節細胞と呼ばれる網膜の細胞です。(図1b)は眼球の黒目の奥の写真で、褐色の部分は網膜、赤い樹枝状に見えるところが血管です。円形に見える橙白色の部分は、網膜の神経線維が集まった盛り上がりで、視神経乳頭と呼ばれます。視神経乳頭部から神経線維は眼外にでて視神経を形成します。

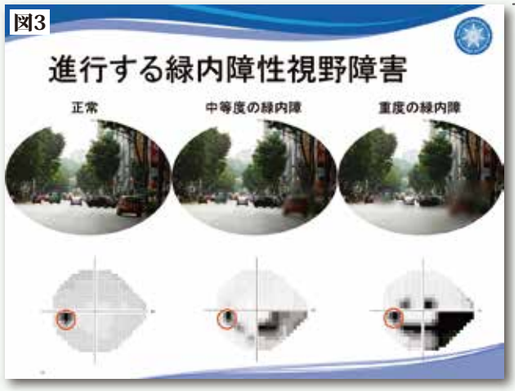
眼内では、房水という、目に栄養を運ぶ水が産生され、「眼圧」というある一定の圧力に保たれています。この房水の通り道が目詰まりするなどして排出がうまくいかないと、眼圧が上昇し、視神経乳頭が圧迫され、神経線維が障害されてきます。そして障害が進行してくると視神経乳頭部中央のへこみが大きくなってきます(図2)。

神経線維が障害されることにより脳に送られる視覚情報に欠損が生じ、これが緑内障による視野障害となるのです。緑内障では、障害された視神経線維に対応した部位の視野に障害が生じます(図3)。

一方で、眼圧が正常範囲内であっても、視神経乳頭が障害され、視野が狭くなる人がいることがわかり、「正常眼圧緑内障」とよばれています。これについては明らかな原因は分かっていません。







緑内障の症状

緑内障の初期は、視野のほんの一部が欠けるだけで、痛みなどの自覚症状はありません。しかし、(図3)上段のように視野障害が進行すると、視力も低下し、読み書きや移動が困難になります。緑内障は自覚症状の少ない病気で、末期まで気づかないケースもよくあります。それは、片眼だけ視野が狭くなっても、人間はふだん両眼で補い合って見ているため、その症状に気づかないことが多いのです。また、ゆっくり進行するので、その見え方に慣れてしまうということもあると思います。40歳を過ぎたら一度は眼科を受診することをお勧めします。

緑内障の治療

緑内障は進行性の病気であり、一度欠けてしまった視野は、残念ながら元に戻りません。しかし、眼圧を下げることによって、視野が狭くなっていくスピードを遅くすることはできます。眼圧を下げるには、まず、点眼(目ぐすり)の治療から始めます。点眼のみでは眼圧の下降が不十分な場合は、レーザー治療や手術治療を行うことがあります。通常は、1~3ヶ月に一度の通院治療で、眼圧チェックや視野検査を行います。

多くの緑内障は、ゆっくり進行し、病状が進んでも症状を自覚しづらい傾向があります。しかし、早期に発見し治療することで、生涯にわたり、見えづらさを気にせずに生活することが、十分に可能であることも忘れないでください。

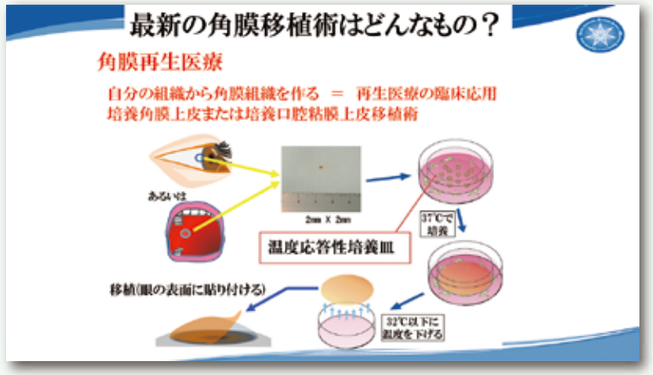
「アイバンクが果たすべき役割」

●横倉 俊二先生／東北大学眼科講師

角膜は眼の最も表面にあり、水晶体とともに光を眼の中に入れて網膜に像を結ぶ、いわばカメラのレンズの役割をしています。角膜は表面から順に上皮・実質・内皮に分けられます。このうち上皮は眼内に異物が入り込まないようにするためのバリアの役割を、内皮は角膜に溜まった水を汲みだして角膜の透明性を維持する働きをしています。ばい菌への感染等の原因によって角膜に強い濁りが残ってしまった場合、角膜移植によって角膜の透明性を回復させる必要があります。

ヒトからの角膜移植は約100年以上の歴史がある手術です。代表的な手術方法は角膜の上皮から内皮までを丸く打ち抜いて移植する「全層角膜移植」というもので、今でも重要な方法です。しかしここ20年程の間にみられた手術器具の改良と診断技術の進歩により、治療に必要最小限の部分のみを取り換えて移植する、「パーツ移植」という概念が主要な考え方になってきました。このため現在では角膜移植全体に占める全層角膜移植術の割合は減少する傾向にあります。

最新の角膜移植としては角膜の内皮のみ取り換える「内皮移植術」と、再生医療を用いた角膜移植としての「自己培養角膜上皮移植」及び「自己培養口腔粘膜上皮移植」があります。培養上皮移植では、片眼の角膜のみ障害されている場合は健康な方の角膜上皮を、両眼の角膜が障害されている場合は口腔粘膜をそれぞれ採取し、特殊な培養皿で培養します。これを本人の角膜の代わりに張り付けることで視力の回復を目指すものです。現在東北大学病院では全国の複数の施設との治験に参加しており、角膜の提供数は震災直後に一時的な落ち込みはあったものの徐々に増えてきています。しかしながら移植手術を待たれている方の数に比べてまだ少ない状況が続いており、この不足分を埋めるために海外(ほとんどが米国)から角膜を頂いているのが現状です。しかし昨今WHO(世界保健機関)より、自国で提供があった臓器はできるだけ自国民に移植すべき、との勧告がなされており、これまで通り米国から角膜提供が受けられるかはわかりません。また当アイバンクは支援者の方々・支援団体からの寄付と、角膜を斡旋することによって医療機関から得られる斡旋手数料のみが収入源となっており、財政的には常に厳しい状態が続いております。多くの患者様を失明の危機から救済するために、今後とも東北大学アイバンクへのご支援を宜しくお願いいたします。



てお り、これらの培養上皮移植術をおこなっています。

角膜はこのように再生医療では上皮については治療が可能になり、また内皮に関しても国内の他の施設で再生医療による治療が開発されております。しかし角膜全体を再生することは現状では難しく、亡くなった方からの角膜による移植手術がまだまだ必要です。この角膜を斡旋するための非営利団体がアイバンクです。宮城県では我々東北大学アイバンクが斡旋・献眼登録普及活動を行っており、角膜の提供数は震災

第6回東北大学アイバンクセミナー 告知用チラシ

教えてください！アイバンクのこと

「献眼」という言葉を耳にしたことはあるけれど、あまり詳しいことはわからないし心配なことや、不安もあるという方。一緒に、献眼について考えてみませんか。アイバンクでは皆様からの疑問や質問に、コーディネーターがやさしく丁寧にお答えします。お問い合わせの一部をご紹介します。

Q 献眼をするのに年齢制限はあるのですか？

献眼は、年齢の制限がありません。100 歳以上の方からもご献眼いただいています。但し、3 歳以下の子供の角膜は、発育の未熟性から移植手術は難しくなります。

Q アイバンクに連絡するのは死後何時間以内なら献眼が可能なのですか？

東北大学アイバンクでは 24 時間以内で対応しています。季節や亡くなられたときの状態も関係しますので、なるべく早く連絡してください。

Q 老眼でも提供できますか？

できます。近視、遠視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常があっても登録は可能です。角膜が透明であれば提供できます。

Q 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

できます。白内障や緑内障などの病気や、その治療のための手術を受けた場合でも、角膜が透明であれば提供していただけます。どなたから提供された場合でも、提供後に精密な検査を行い、移植に使用可能であるかを判断させていただきます。

Q C型肝炎でも臓器提供できる場合があると聞きましたが、角膜もできるのですか？

角膜の場合、C 型肝炎を発症している方、または持続感染者（キャリア）どちらの場合も献眼できません。その他、B 型肝炎、敗血症、白血病、エイズ、神経系疾患などの方からの提供もお受けできません。角膜移植手術によって、他の感染症などを患者様に持ち込まないというのが原則だからです。

Q がんを患っていますが提供できるでしょうか？

基本的にはできます。但し、眼内へのがん転移がある場合や白血病、悪性リンパ腫などの血液腫瘍の場合はご提供いただけません。

Q 家族がいない場合、提供できますか？

できます。生前のご本人の提供意思が書面によって示されている場合、ご提供いただくことが可能です。献眼登録カードや臓器提供意思表示カードを携帯していただくことをお勧めします。

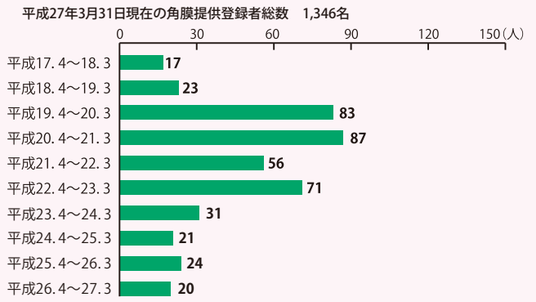
Q どこでどのような処置をするのですか？

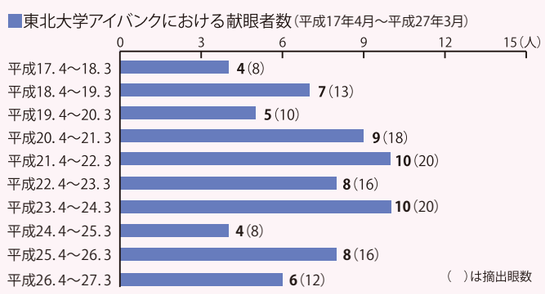
献眼はお亡くなりになったところ（病院・自宅など）でできます。東北大学アイバンクでは、全眼球摘出という方法で処置します。それは提供後の処置を清潔な環境で行うためです。摘出にかかる時間は 1 時間くらいです。

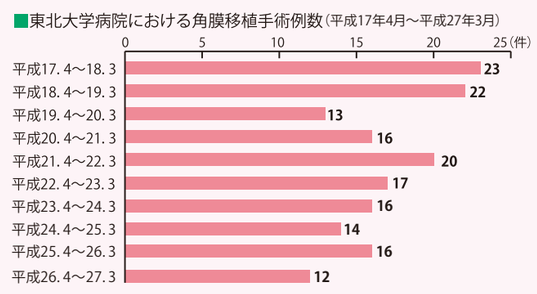
Q 顔が変わってしまうことはありますか？

お顔はかわりません。ご提供いただく前に、お顔の表情を確認させていただき、処置には細心の注意を払います。摘出後は義眼をおのせし、丁寧にお顔を整えますので外見上の変化はほとんどありません。

活動報告のひとつ







もっと詳しくお知りになりたい方は、直接 東北大学アイバンクまでお電話ください。**東北大学アイバンク 24 時間対応［022-728-3677］**

■平成26年度 東北大学アイバンク活動報告（平成26年4月1日から平成27年3月31日）

5月16日●平成26年度東北大学アイバンク第1回理事会
●平成26年度東北大学アイバンク第1回評議員会
◆東北大学艮陵会館
5月30日●第51回北海道東北地区広域活動連絡会
◆弘前／ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
7月11日●第24回宮城県院内臓器移植コーディネーター研修会
◆宮城県自治会館
7月25日●第52回北海道東北地区広域活動連絡会
●第37回全国アイバンク連絡協議会
◆東京／東京国際フォーラム
7月26日●第28回アイバンクワークショップセミナー
◆東京／東京国際フォーラム
8月23日●第5回東北大学アイバンクセミナー
「眼の健康を守るために」
◆仙台市情報産業プラザ
9月2日●平成26年度臓器移植普及推進キャンペーン打合せ会議
◆協和発酵キリン
9月28日●平成26年度臓器移植普及推進キャンペーン
◆陸上自衛隊仙台駐屯地
10月10～12日●目で見る眼のすべて展
◆仙台三越
12月3日●第25回宮城県院内臓器移植コーディネーター研修会
◆仙台市生涯学習支援センター
1月16日●平成26年度東北大学アイバンク第2回理事会
◆東北大学艮陵会館
1月17～18日●第6回U14東日本男子バレーボール大会
◆セキスイハイムスーパーアリーナ
1月19日●平成26年度東北大学アイバンク第2回評議員会
◆東北大学艮陵会館
1月27日●第3回キャビネット会議支援金目録贈呈式
◆石巻グランドホテル
2月21日●第29回アイバンクワークショップセミナー
◆東京／日本教育会館
3月3日　●平成26年度東北大学アイバンク第3回理事会
◆東北大学艮陵会館
3月16日●平成26年度東北大学アイバンク第3回評議員会
◆東北大学艮陵会館

■平成26年度 東北大学アイバンク収支決算報告（平成26年4月1日から平成27年3月31日）

科　目	予算額	決算額	
Ⅰ事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	6,000	0	
基本財産利息収入	6,000	0	
特定資産運用収入	0	0	
特定資産利息収入	0	0	
会費収入	2,300,000	2,167,000	
協力病院医院会費収入	1,800,000	1,820,000	*1
協力企業団体会費収入	300,000	121,000	*2
協力会員会費収入	200,000	226,000	*3
事業収入	3,200,000	2,400,000	
角膜斡旋手数料収入	3,200,000	2,400,000	
補助金収入	270,000	244,960	
地方公共団体補助金収入	0	0	
普及啓発事業助成金収入	200,000	153,000	
日本アイバンク協会助成金収入	70,000	91,960	
寄付金収入	2,200,000	2,701,843	
ライオンズクラブ寄付金収入	700,000	682,600	*4
法人団体寄付金収入	500,000	788,110	*5
個人寄付金収入	500,000	780,748	*6
募金収入	500,000	450,385	*7
その他の収入	560,200	361,862	
受取利息収入	200	1,862	
セミナー支援金収入	0	0	
会報広告掲載料収入	460,000	360,000	
その他の収入	100,000	0	
事業活動収入合計	8,536,200	7,875,665	
2. 事業活動支出			
事業費支出			
募集登録費支出	820,000	1,107,837	
旅費交通費支出	60,000	79,350	
印刷製本費支出	450,000	597,780	
役務費支出	200,000	295,862	
広報費支出	110,000	134,845	

科　目	予算額	決算額	
斡旋事業費支出	721,000	556,337	
報償費支出	160,000	160,000	
旅費交通費支出	5,000	8,200	
器具消耗品費支出	400,000	301,743	
検査費支出	76,000	56,634	
役務費支出	80,000	29,760	
啓発事業費支出	2,100,000	1,689,849	
啓発備品費支出	100,000	112,291	
印刷製本費支出	1,200,000	776,220	
役務費支出	500,000	299,632	
報償費支出	100,000	151,000	
賃借料支出	200,000	350,706	
祭祀費	0	0	
報償費支出	0	0	
需用費支出	0	0	
役務費支出	0	0	
アイバンク協会費	50,800	50,800	
管理費支出			
職員費支出	3,900,000	3,871,123	
給料支出	3,400,000	3,417,333	
法定福利費支出	500,000	453,790	
事務費支出	1,826,100	1,858,228	
旅費交通費支出	250,000	260,660	
会議費支出	286,000	548,433	
報償費支出	10,000	0	
需用費支出	550,000	477,209	
役務費支出	200,000	177,044	
賃借料支出	30,100	30,902	
資産購入費支出	0	0	
雑費支出	500,000	363,980	
事業活動支出合計	**9,417,900**	**9,134,174**	
事業活動収支差額	**△881,700**	**△1,258,509**	

科　目	予算額	決算額
Ⅱ投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩金収入	0	0
投資活動収入合計	0	0
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出	0	0
備品購入支出	0	0
投資活動支出合計	0	0
Ⅲ財務活動収支の部		
1. 財務活動収入		
借入金収入	0	0
財務活動収入合計	0	0
2. 財務活動支出		
資産購入預金積立	5,000,000	3,728,181
財務活動支出合計	5,000,000	3,728,181
Ⅳ予備費支出		
予備費支出	0	108,000
当期収支差額	**△5,881,700**	**△5,094,690**
前期繰越収支差額	**8,635,371**	**8,635,371**
次期繰越収支差額	**2,753,671**	**3,540,681**

*1　協力病院年会費一口30,000円・協力医院年会費一口20,000円
*2　協力団体年会費一口30,000円・協力企業年会費一口30,000円
*3　個人会員年会費一口1,000円
*4　ライオンズクラブからの寄付
*5　企業、団体、病院からの寄付（年会費分を除いたもの）
*6　個人からの寄付（年会費分を除いたもの）
*7　ビギーちゃん募金など

眼球提供登録者数・眼球提供者数・移植手術例数及び角膜移植待機患者数の報告

	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
1.眼球提供登録者数					
年度累計	20名	24名	21名	31名	71名
実登録者総数	1,346名	1,346名	1,329名	1,376名	1,348名
開設以来累計	9,250名	9,230名	9,206名	9,185名	9,154名
2.眼球提供者数及び献眼数					
年度累計	6名	8名	4名	10名	8名
開設以来累計	472名	466名	458名	454名	444名
年度累計	12眼	16眼	8眼	20眼	16眼
開設以来累計	927眼	915眼	899眼	891眼	871眼
3.国内斡旋角膜*8 による移植　手術例数					
年度累計	12例	16例	14例	16例	17例
開設以来累計	882例	872例	856例	842例	826例
4.角膜移植待機患者数					
各年度3月31月現在	63名	63名	63名	66名	63名

*8　東北大学アイバンクが斡旋した角膜

平成27年寄付者御芳名

～平成27年4月から平成28年3月までの間にご寄付頂きました皆様～

（敬称略）

ご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。ご納入いただきました寄付金及び年会費は、東北大学アイバンクの活動に有効につかわせていただいております。

【寄付金】平成27年4月～28年3月

◆ライオンズクラブ国際協会332－C地区……790,000円
◆仙台中央グリーンライオンズクラブ……300,000円
◆宮城県眼科医会（ピギーちゃん募金）……456,415円
◆仙台市眼科医会……150,000円
◆公益社団法人宮城県医師会……30,000円
◆一般社団法人仙台市医師会……30,000円
◆南中山眼科クリニック（橋本多佳子）……60,000円
◆いずみクリニック（大瀧忠、大瀧正子）……50,000円
◆マルイ眼科（佐柄英人）……50,000円
◆浅野孝信……100,000円
◆伊藤規雄……100,000円
◆匿名（女性）……50,000円
◆匿名（女性）……40,000円
◆匿名（男性）……22,000円
◆青木惠一……20,000円
◆匿名（女性）……20,000円
◆下山正信……20,000円
◆菅原裕子……20,000円
◆今井忠克……12,000円
◆浅沼孝和……10,000円
◆匿名（女性）……10,000円
◆菊地伸治……10,000円
◆郷家ふぢよ……10,000円
◆匿名（女性）……10,000円
◆小林洋子……10,000円
◆小山敏子……10,000円
◆佐藤ちゑ子……10,000円
◆高橋勇吉……10,000円
◆只野新子……10,000円
◆匿名（女性）……10,000円
◆錦戸光一郎……10,000円
◆山島明……10,000円
◆遊佐昌子……10,000円
◆吉田みゑ子……10,000円

【協力医院】

●青葉区
あさひがおか眼科
阿部眼科診療所
今井眼科医院
大橋眼科医院
おくやまアイクリニック
小田眼科医院
木村眼科医院
小林眼科医院
さいとう眼科
笹森医院眼科
佐藤眼科医院
佐藤裕也眼科医院
むとう眼科医院
山本眼科医院
わだゆうこ眼科クリニック
●宮城野区
神尾眼科
仙台駅東口大槻眼科
みやぎの眼科
●若林区
佐瀬眼科医院
前川眼科
矢端眼科医院
わかばやし眼科
●太白区
志賀眼科
徳永眼科医院
とみさわみなみ眼科クリニック
西多賀眼科医院
長谷川眼科医院
●泉区
いずみクリニック
菊地眼科医院
シオノ眼科
たけだ眼科小野寺内科
町田眼科医院
南中山眼科クリニック
山田孝彦眼科
●仙南エリア
浅野眼科医院
いのまた眼科
大槻眼科医院
水戸眼科医院
八木沼眼科クリニック
油井眼科医院
●名取・岩沼エリア
板橋眼科医院
松永眼科
わく沢眼科医院
亘理浅野眼科医院
●塩釜・黒川エリア
かとう眼科医院
鈴木眼科医院
多賀城眼科
宮町脳神経眼科クリニック
やすい眼科
渡辺眼科医院
●大崎エリア
一迫眼科
大崎ミッドタウン
総合メディケアクリニック
かしまだい中央眼科
菅野眼科医院
清宮眼科医院
つのだ眼科
古川中央眼科
星眼科医院
●栗原・登米エリア
あさの眼科医院
ごとう眼科
佐藤進眼科
みうら眼科医院（登米）
●石巻エリア
佐久間眼科小児科医院
菅原眼科医院
なかがわ眼科
もぐり眼科クリニック
●宮城県外
マルイ眼科（福島県南相馬市）
山田眼科医院（秋田県横手市）

【協力病院】

●青葉区
イムス明理会仙台総合病院
ＪＲ仙台病院
東北公済病院
東北労災病院
●宮城野区
仙台東脳神経外科病院
東北医科薬科大学病院
●若林区
仙台市立病院
●太白区
仙台赤十字病院
●泉区
松田会松田病院
仙台徳洲会病院
●仙南エリア
公立刈田綜合病院
みやぎ県南中核病院
●名取エリア
宮城県立がんセンター
●塩釜・黒川エリア
公立黒川病院
坂総合病院
塩竈市立病院
仙塩利府病院
●大崎エリア
大崎市民病院
涌谷町国民健康保険病院
●栗原・登米エリア
栗原市立栗駒病院
栗原市立栗原中央病院
登米市立登米市民病院
●石巻エリア
石巻赤十字病院
●気仙沼エリア
気仙沼市立病院
●県外病院
公立相馬総合病院
山形市立病院済生館
（五十音順）

【協力団体】

仙台市医師会
仙台市眼科医会
（公社）日本眼鏡技術者協会
宮城支部
宮城県医師会
宮城県眼科医会
（五十音順）

【協力企業】

（株）アールテック・ウエノ
ＭＳＤ（株）
大塚製薬（株）
参天製薬（株）
仙台和光純薬（株）
（株）トラストメディカル
日本アルコン（株）
（株）日本眼科医療センター
ノバルティスファーマ（株）
ファイザー（株）
ＨＯＹＡ（株）
（株）メガネの相沢
わかもと製薬（株）
（五十音順）

【協力会員】

相原敬子・青木惠一・青柳淑子・浅井千代子・浅沼孝和・阿部昭夫・阿部通泰・阿部容治・荒井逞二・有路利夫・安齊一男・五百城文則・伊賀雅博・五十嵐保子・石井里美・石垣るり子・石田滋子・石山敬子・伊藤義三郎・伊藤澄雄・伊藤寿美子・伊藤規雄・伊東弓子・伊東隆三・今井克忠・岩原秀実・上西則子・牛袋ちよ子・内山貞也・江崎範光・遠藤順子・遠藤慎治・遠藤敏・遠藤康彦・遠藤律子・近江みや・大内昇・扇功・大友幸子・大友孝子・大沼信子・大橋香澄・大橋拓馬・大橋理恵・大久晃功・尾形和子・奥田利夫・奥津孝子・奥津虎之介・小野寺美智子・加賀孝一・加賀由美子・角田淳一・笠原康弘・梶原さよ子・加藤静子・門山園子・金井恭子・金田光司・鹿野壽悦・鎌田茂・神山周子・加茂エミ・菅野芳男・菊地伸治・熊池のぶ子・熊谷昭三・熊谷みよ・黒石佳彦・黒澤勝子・郷家ふぢよ・後藤清・後藤正子・後藤政志・小沼シゲ子・小林タカ・小山敏子・小山正彦・今野薫・今野美智子・斉藤邦雄・齋藤順子・斉藤節子・佐々木栄子・佐々木京子・佐々木武子・佐々木久子・佐々木房子・佐々木みつ子・佐藤明彦・佐藤京子・佐藤誉・佐藤卓生・佐藤ちゑ子・佐藤秀子・佐藤友行・佐藤直次・佐藤むつ子・鴨原カツ子・渋谷彰子・島村敬子・下山正信・庄子とよ子・仁和広司・菅原誠一郎・菅原史子・菅原裕子・杉山茂・鈴木剛・清野和子・瀬ノ上好子・高田みどり・高橋清夫・高橋澄世・高橋勇吉・武田貞子・武山広美・田代修一・田中健・谷田甚一・玉井信・田村リツ子・丹野輝英・千葉一夫・土井三恵・東海林清人・百々由美子・鳥海義和・中井格・中里ゆか・中村和之・成毛令子・成沢光子・南昭彦・新妻敏雄・新沼寿一・錦戸光一郎・根元昌子・野口タケ子・芳賀壽子・支倉幸子・畠山啓子・半沢敬一・半田仁・平間清・冨士原明美・船岡信雄・星毅・松浦明・松坂伸子・松澤等・三浦慶子・三浦美智子・三浦美子・三澤一雅・三塚雅子・三橋道子・村上恵久子・村上冴子・村上淑子・目黒とみ・目黒正見・森巌・森幸子・森卓滋・森山行輝・門間庄治・山口和子・山口徳子・山島明美・山田明美・山本峰聖・結城豊明・遊佐昌子・横田美慧子・横山忠道・吉田みゑ子・渡辺貞子・渡邊正志・渡辺雄一
ほか八三名計二六三名
（五十音順）

※ご住所、お名前など登録内容を変更されましたら、東北大学アイバンク事務局（022-728-3677）までお知らせください。

公益財団法人東北大学アイバンク
顧問・理事・監事及び評議員

平成27年4月1日現在

（敬称略）

【顧　問】

村井　嘉浩　宮城県知事
海輪　誠　東北電力株式会社 代表取締役会長
氏家　照彦　株式会社七十七銀行 代表取締役頭取
玉井　信　東北大学名誉教授
里見　進　東北大学総長

【理事長】

中澤　徹　東北大学教授（眼科学分野）

【理　事】

相澤　博彦　株式会社メガネの相沢 代表取締役社長
大久　晃功　株式会社国際ツーリスト仙台 代表取締役
國方　彦志　東北大学准教授（眼科学分野）
田畑　英伍　有限会社田畑会計事務所 代表取締役
山形　和正　宮城県眼科医会 会長
横倉　俊二　東北大学講師（眼科学分野）

【監　事】

前川　暢男　前川眼科 院長
山田　孝彦　山田孝彦眼科 院長

【評議員】

伊藤　孝　日本赤十字社東北ブロック血液センター 名誉所長
亀山　元信　仙台市立病院 院長
今田　隆一　公益財団法人宮城厚生協会 理事長
佐藤　克巳　東北労災病院 院長
中沢　幸男　宮城県議会議員
濱田　敏克　仙台キワニスクラブ 元会長
山口　慶子　東北文化学園大学 教授
涌澤　亮介　わく沢眼科 副院長

（五十音順）

～「アイ愛」編集後記～

東北大学アイバンクだよりvol.8ができあがりました！

献眼者ご遺族と受眼者による、お互いに相手を思いやる気遣いがクロスオーバーする本誌は、貴重な交流・啓発活動の場と位置付けております。この場をお借りしまして、アイバンク事業にご理解とサポートを頂いている皆様方、献眼者とそのご遺族の方々、協力病院、協力企業、協力団体の方々、アイバンク理事・評議員の方々に、感謝を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。

海外からの角膜に頼ることも多い現在ではございますが、国内の尊い志で完結する角膜移植に、引き続きご理解ご協力を賜れば幸いです。東北大学アイバンクは、2016年も患者さんの視機能回復のお役に立てるように、最善を尽くしたいと存じます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

東北大学アイバンク理事　東北大学眼科准教授　國方 彦志

医療従事者の皆様へ

人生の最期にしかできないことがあります。
それは、自分の角膜をどなたかに提供する「献眼」です。
患者様からのお問い合わせには、
おひとりおひとり対応させていただきます。
たとえば、

献眼について話だけでも聞いてみたいという方
以前に提供登録を考えたことがあるという方
献眼したいと思っているが家族が反対しているので家族みんなで話を聞きたいという方
興味はあるけれどきっかけがないという方
角膜移植などの医学的な情報も聞いてみたいという方
どのようなことにもお答えいたします。

ぜひ、東北大学アイバンクまでお問い合わせください。

東北大学アイバンク
24時間ホットライン　022-728-3677

アイバンクのコーディネーターが迅速に対応させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
また、ご希望の方には 東北大学アイバンクのリーフレット 及び「東北大学アイバンクだより（アイ愛）」を無料でお送りしております。必要な部数をお知らせくださいますれば１週間以内に発送いたします。

「ピギーちゃん募金」のご協力をお願いいたします。

宮城県内の眼科を受診された際に、受付窓口などに置いてある「ピギーちゃん募金箱」にお気づきでしょうか。これは宮城県眼科医会と参天製薬様のご協力のもと、平成21年より始められた募金活動です。皆様にアイバンクについて広くご理解いただくことを目的として、県内の眼科医院に設置していただいております。東北大学アイバンクでは、リーフレットや会報を制作し、講演会や少人数のグループでのセミナー、または直接お伺いしてお話させていただくなど様々な活動を行っております。
このような活動の一部は「ピギーちゃん募金」に支えられています。こぶたの「ピギーちゃん」をお見かけの際にはぜひ募金のご協力をお願いいたします。

アイバンク協力医院のみなさまへ

募金箱設置にご協力いただいております眼科医院の皆様には、心から感謝申し上げます。平成27年度（平成27年4月～平 成 28 年３月）に皆様よりいただきました募金は、456,415円となりました。今後とも引き続きご支援いただきますようお願いいたします。また、リーフレット、会報「アイ愛」をご希望の方は事務局までご連絡ください。

SINCE 1895 アイザワのメガネは3年間のロングラン保証付

Only One

世界にひとつ、あなただけのメガネ

お客様お一人おひとりの「見え方」に合わせたメガネは、あなただけのオリジナル、世界にひとつです。
アイザワでは、視力に関するお困り事やご要望などを詳しくじっくりとお伺いし、最適で快適なメガネづくりをいたします。
視力のトータルサポートは“信頼と安心”のメガネの相沢にお任せください。

オンリーワン あなただけのメガネはアイザワで。

信頼&安心 メガネの相沢

本店〈仙台おおまち・藤崎本館向い〉
TEL.022-223-8155　営業時間10:00～19:00

本館〈仙台駅前・南町通り〉
TEL.022-262-0581　営業時間10:00～19:00

NOVARTIS

新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

ノバルティス ファーマ株式会社
http://www.novartis.co.jp/

Pfizer

Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

様々な病気に打ち勝つため、ファイザーは世界中で新薬の研究開発に取り組んでいます。
画期的な新薬の創出に加え、特許が切れた後も大切に長く使われている
エスタブリッシュ医薬品を医療の現場にお届けしています。

ファイザー株式会社　www.pfizer.co.jp

植物油インキを使用し、環境にやさしい水なし印刷方式を採用しています。
VEGETABLE OIL INK
P-B10054
この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。

東北大学アイバンクに関する情報は
東北大学医学部眼科学教室のホームページからもご覧になれます。
［関連ホームページ］東北大学医学部眼科学教室 http://www.oph.med.tohoku.ac.jp/

［ご注意］
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
課税相当額以上
貼　付
印

この場所には、何も記載しないでください。

参天製薬株式会社　大阪市北区大深町4-20　TEL 06(6321)7000
http://www.santen.co.jp/
JU15C065185WC_R

Trust MEDICAL

株式会社
トラストメディカル

眼科用医療機器・器具　コンタクトレンズ
眼内レンズ　視覚障がい者用福祉機器

受付時間 10:00～18:00（日・祝日・年末年始は除く）
022-342-6780
E-MAIL:info@trust-medical.co.jp　http://www.trust-medical.co.jp
【本社】〒981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘3-28-1　営業所：山形・福島・関東(埼玉)

眼科に関わる すべてをお手伝いします　トラストメディカル　検索

地域医療に貢献しているドクターをサポート致します。

株式会社 日本眼科医療センター

各社眼科検査器械・手術用機器・器具・機材

TEL 022-374-2226　〒981-3134 仙台市泉区桂四丁目33番地の3
FAX 022-374-2228　営業所／盛岡・郡山・山形・東京

Alcon

よりよい視界の提供で、人々の暮らしを豊かに。

アルコンの使命。それは、人々によりよい視界を提供し、豊かな暮らしに貢献することです。
そのために、サージカル、ビジョンケア、医薬品において幅広い製品を提供するとともに、
24,000人の社員が医療従事者の方々と協力し、
世界各地で待ち望まれているアイケア製品の開発に取り組んでいます。
暮らしを豊かに変える、革新的な製品を皆様のもとへ。
アイケアの未来はアルコンが切り拓いていきます。

www.alcon.co.jp　a Novartis company